

2020年9月30日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証一部 / 証券コード : 3762)

## 株式会社 NOBORI、 COVID-19 肺炎 AI の無償支援プロジェクト拡大のお知らせ

当社の連結子会社（持ち株比率：66.6%）である株式会社 NOBORI（本社：東京都港区 代表取締役社長：依田 佳久、以下「NOBORI」）は、エムスリー株式会社（本社：東京港区 代表取締役：谷村 格、以下「エムスリー」）と共同して実施している、COVID-19 に関する無償支援プロジェクトを拡大いたします。

5月20日に発表のとおり、NOBORI はエムスリーと共同して、COVID-19 に対峙する全国の医療機関様へ、遠隔読影や画像診断支援 AI システム等の無償支援を行ってまいりました。

こうした中、本無償支援に関して多数のご応募・ご相談をいただいたことや、COVID-19 の感染拡大が長期化している状況を鑑み、株式会社三井住友ファイナンシャルグループ及びファイザー株式会社も加わりご支援いただくことで、本無償支援プロジェクトを拡大することといたしました。

詳細は次ページをご覧ください。

## COVID-19 肺炎 AI の無償支援プロジェクト拡大のお知らせ

株式会社 NOBORI（本社：東京都港区、代表取締役社長：依田 佳久、以下「NOBORI」）は、エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、URL：<https://corporate.m3.com/>）、以下、「エムスリー」）と共同して、長期化する COVID-19 と日々対峙する全国の医療機関への支援として新たなプロジェクトを行うことになりましたので、お知らせいたします。

### ■ COVID-19 肺炎 AI と遠隔読影サービスの無償支援の拡大

6月29日付で厚生労働省から製造販売承認を取得した「COVID-19 肺炎画像解析プログラム Ali-M3(※1)」(以下、「本製品」)をはじめとする画像診断支援 AI、COVID-19 判定における遠隔読影診断サービスを医療機関へ無償支援を行って参りました。6月の利用希望施設の募集開始から多数ご応募頂き、現在、121 施設への本製品提供が確定しており、医療機関での活用が始まっています。すでに全国で約 10,000 検査の画像解析を行い、診療にお役立て頂いています。

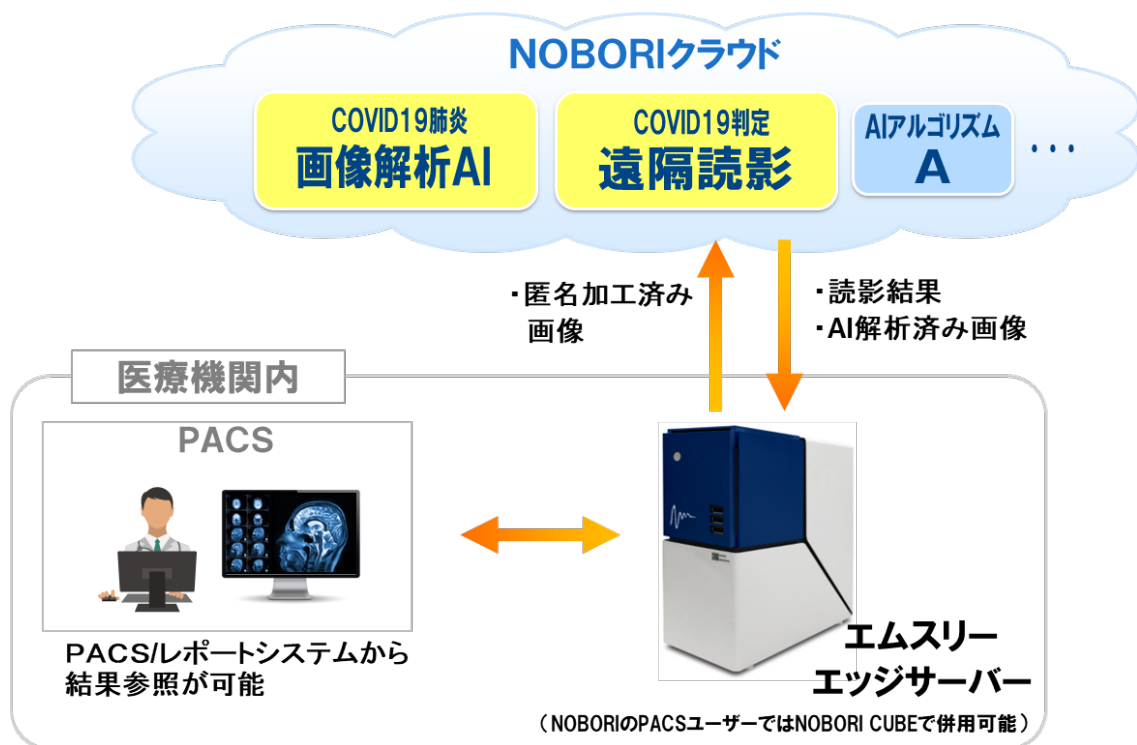
尚、本プロジェクトは、新型コロナウイルス・ソニーグローバル支援基金(※2)支援を受け進めて参りました。

この度、多くの施設からの利用希望を受け、本製品をより多くの医療機関にお役立て頂きたいという想いのもと無償支援プロジェクトを拡大することといたしました。

尚、プロジェクト拡大を実行するにあたり、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、ファイザー株式会社から支援を頂き、推進して参ります。

弊社がエムスリーAI ラボと共に提供する AI サービスを期間限定で無償提供いたします。エムスリーエッジサーバーを医療用画像管理システムである PACS(※3)に接続することで、COVID-19 肺炎 AI 等の画像診断支援 AI、遠隔読影を利用することができる仕組みになります。冬場の COVID-19 対策として少しでもお役に立てればと考えております。

ご利用を希望される医療機関は下記 URL の応募ページよりお申込み下さい。お申込み頂いた施設に詳細のご案内をさせていただきます。先着順のご案内になりますので、その点ご了承ください。



■エントリー応募ページ URL

[https://m3comlp.m3.com/lp/m3com/covid19\\_dokuei](https://m3comlp.m3.com/lp/m3com/covid19_dokuei)

お申込みにはエムスリーが運営する m3.com 会員資格が必須になります。会員登録をされていない方は、ご登録後の申請をお願いいたします。

■協業パートナー

エムスリー株式会社について

日本の医師の約 9 割が登録している医療情報配信ポータルサイト「m3.com」を運営しており、製薬業界を中心にマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しています。また、米国、英国、中国など海外への事業展開も積極的に進めています。2017年4月にはM3 AI ラボを発足し、画像診断を含めたAI医療機器の開発支援など先端医療分野での事業拡大を推進しています。

エムスリー株式会社の詳細情報は <https://corporate.m3.com/> をご覧ください。

※1 AI アルゴリズムを活用した胸部 CT 検査画像の解析プログラムになります。主な機能は、「COVID-19 肺炎に見られる画像所見の確信度提示機能」及び「関心領域のマーキング機能」になります。本製品プログラムは、7,038 例の検査画像データ（内 COVID-19 肺炎の検

査画像データ 3,067 例) を学習データとして用い、ディープラーニングを活用して開発されています。国内検査画像データ (約 800 例) を用いた臨床性能試験により、本製品の精度評価を実施し、製造承認の取得に至りました。

※2 ソニー株式会社が新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) により世界各国で影響を受けている人々を支援するため、2020 年 4 月 2 日に立ち上げた、総額 1 億 US ドル (約 108 億円) の支援ファンドになります。

※3 医療用画像管理システム PACS (Picture Archiving and Communication Systems) は、X 線装置、CT、MRI 等の画像撮影装置で撮影した画像データを保管・管理するシステムです。